

目指せ！地域の防災名探偵

～昔の人からのメッセージ「自然災害伝承碑」を知ろう～

あなたの住んでいる町には、古い石の^{きねんひ}記念碑がありますか？
その中には、「昔、この場所でこんな災害があったよ」と教えてくれる特別な記念碑があります。
この特別な記念碑を「自然災害伝承碑(しぜんさいがいでんしょうひ)」と呼びます。
自然災害伝承碑を知って、過去からのメッセージを受け取りましょう。

「四国防災八十八話マップ 徳島版」から抜粋



とくしま けいおう こうずいこんせき
徳島県にある「慶応2年洪水痕跡」



昔の人は、次の世代の人たちが困らないように災害の情報を石碑に残したんだね

みんなの町には、昔あった地震や大雨などの災害を伝えるお話があるかな？



地図記号を知ろう

国土地理院の地図にある この地図記号を見たことがありますか？
これが「自然災害伝承碑」の地図記号です。



出典：ウェブ地図 地理院地図「標準地図」



自然災害伝承碑

どんな意味？

昔、津波や洪水、土砂崩れなどが起きた場所を教えてください。

なぜあるの？

「また同じことが起きるかもしれないから、気をつけてね」という昔の人からのメッセージです。

ウェブ地図「地理院地図」で探してみよう

動画でも使い方が
確認できます



インターネットで「地理院地図」を見ると、あなたの町のどこに自然災害伝承碑があるかわかります。

地理院地図

初期表示画面

情報追加はこちら

災害伝承・避難場所をクリック

「自然災害伝承碑」をクリック

表示したい災害種別をクリック

閲覧したい地域に移動し
アイコンをクリック

手順 1

パソコンやタブレットで
「地理院地図」を開く。

手順 2

メニューから「自然災害伝承碑」
を選ぶ。

手順 3

自分の学校や家の近く
を見てみよう。

ハザードマップと比べてみよう

「自然災害伝承碑」がある場所は、どんな場所かな？「ハザードマップ」と重ねて見てみましょう。

チェックポイント 1

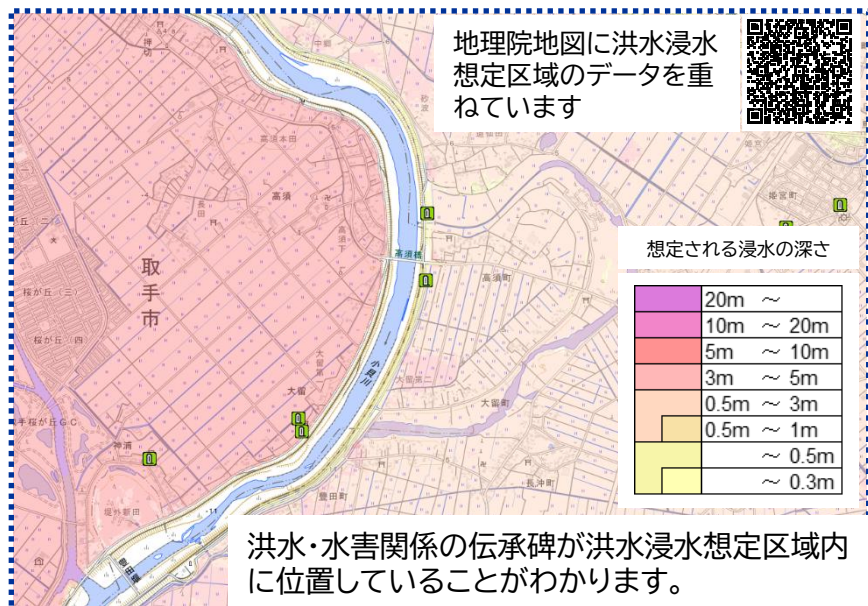
その場所の色は
何色ですか？

チェックポイント 2

近くに川や山は
ありますか？

チェックポイント 3

昔の災害と同じ場所
が、今も危険な場所
になっていませんか？



洪水浸水想定区域：河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域

【伝えたいこと】

じつは、自然災害伝承碑と危険な場所は関係があると言われています。

災害によって被害があった場所に自然災害伝承碑が建てられていることが多いです。

昔の人は自分たちが体験したことを未来の私たちに伝えようとしてくれたのです。

※ 災害から人や家を守るための工事や土地の使い方の変化などで、当時と同じ災害が起きるとは限りません。

※ 自然災害伝承碑が無い場所でも災害が起きる可能性があります。

先生・保護者の方へ

国土地理院のウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/>)から「地理院地図」にアクセスし、
レイヤ機能で「自然災害伝承碑」を表示させてください。



未来の自分を守るために

あなたの地域ではどんな危険があるかな？もし、大雨や地震が起きたらどうするか考えてみましょう。

質問 1 自分の家や学校の周りで危険な場所はどこかな？

質問 2 逃げる場所(避難場所)^{ひなんばしょ}はどこかな？そこまではどうやって行く？

質問 3 家族とどんな約束をする？

自然災害伝承碑は、「ここは危ないよ」「逃げてね」といった昔の人たちからの手紙です。
メッセージを受け取って自分たちと地域の安全を守っていきましょう。

参考・引用情報

国土地理院「自然災害伝承碑」公開ページ(<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>)
四国防災八十八話マップ(<https://shikokubousai88wa-t.amebaownd.com/>)

令和8年10月作成